

全校研究授業を行いました 【3年生 算数】

6月30日(水)5時間目に瑞浪市教育委員会から伊藤 慶和先生を講師としてお招きし、全員の先生が参観する算数の授業を行いました。これまでも、低学年ブロック・高学年ブロックに分かれた研究授業を5年生と4年生で行いましたが、全ての教員が参観するのは今年度初でした。

授業を参観した上で研究会を行いました。その中で3年生の子どもたちの素晴らしさが多く出されました。

① 声の大きさ

授業開始の挨拶の声、返事の声、発言の声、反応の声など、様々なところで発せられる声が大きく、とても聞き取りやすかったです。また、授業に対する意欲も声の大きさから伝わってきました。

授業終了時に発せられた「もっとやりたい。」という声ほど、授業者が嬉しいものではありません。

② けじめのある授業姿勢

話す時、聞く時、タブレットを使う時など、それぞれの場面で、他事をしている姿がなく、何をやる時かを理解し、きちんとけじめのある姿が見られました。

③ タブレットの有効活用

タブレットを使ってやるべきことに全員が取り組むことができていました。また、タブレットを使って交流する時、画面を相手の方に向けて説明するなど、仲間のことを考えた有効活用をすることができていました。

本当によく頑張りました。それぞれの良さは、日頃から授業にしっかりと向かえている証です。

いざという時に自分の力を発揮できるようにするためには、日常の姿がとても大切です。いざ頑張ろうと思っても、思わぬところで日常の姿(本来の姿)が現れてしまうものです。

